

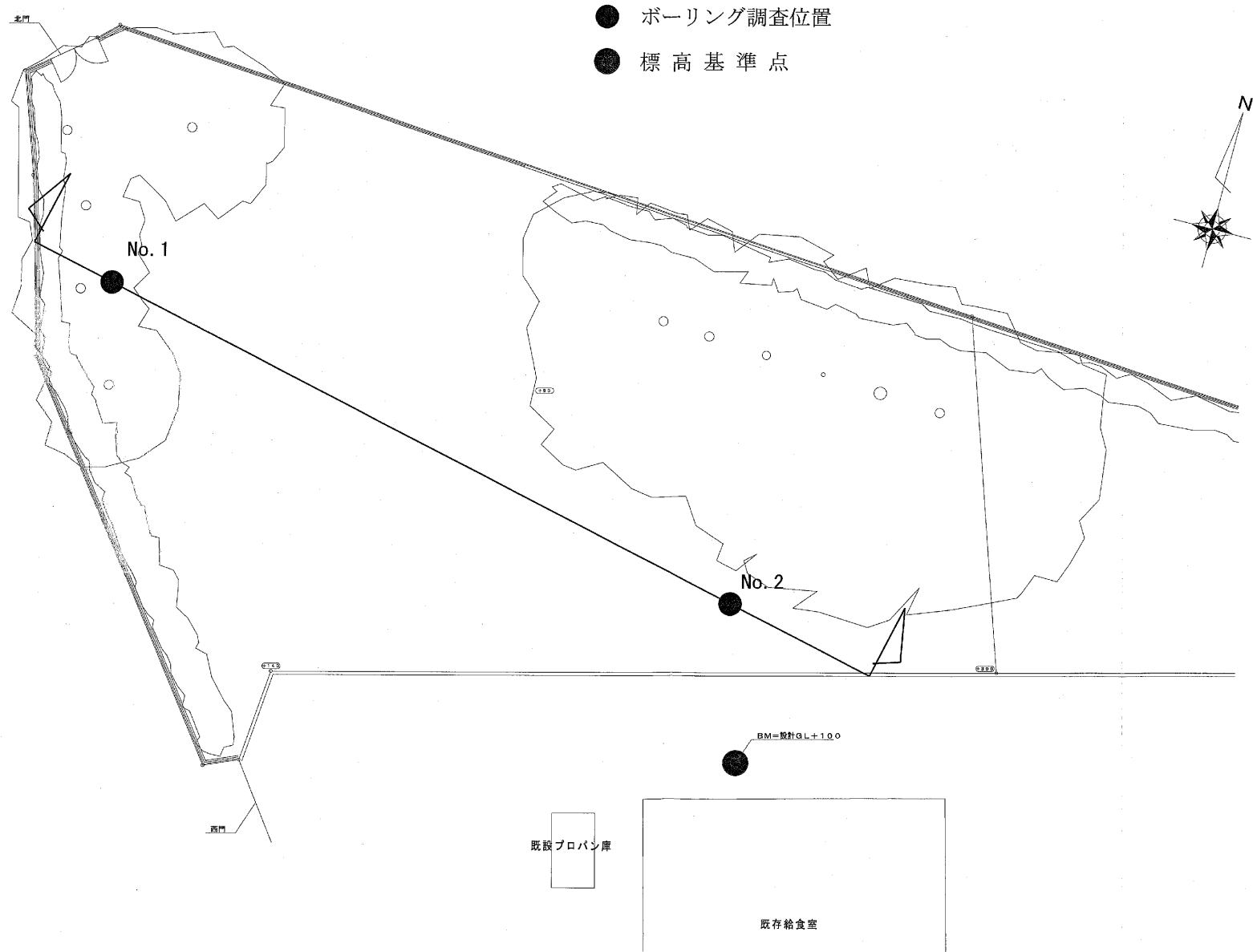
1.2 調査位置図



案内図 縮尺 1:25,000

(国土地理院発行 1/2.5万地形図「大谷」「宇都宮西部」)

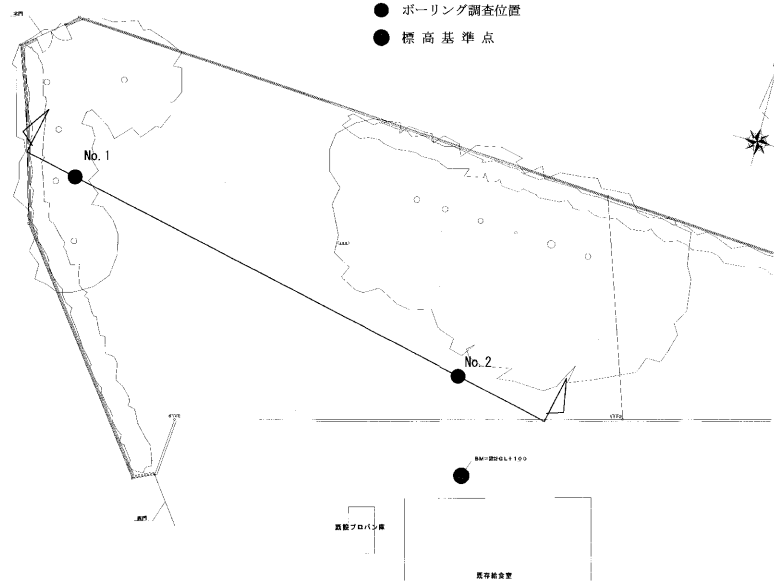
調査位置平面図 S=1:200



調査位置平面図

S=1:200

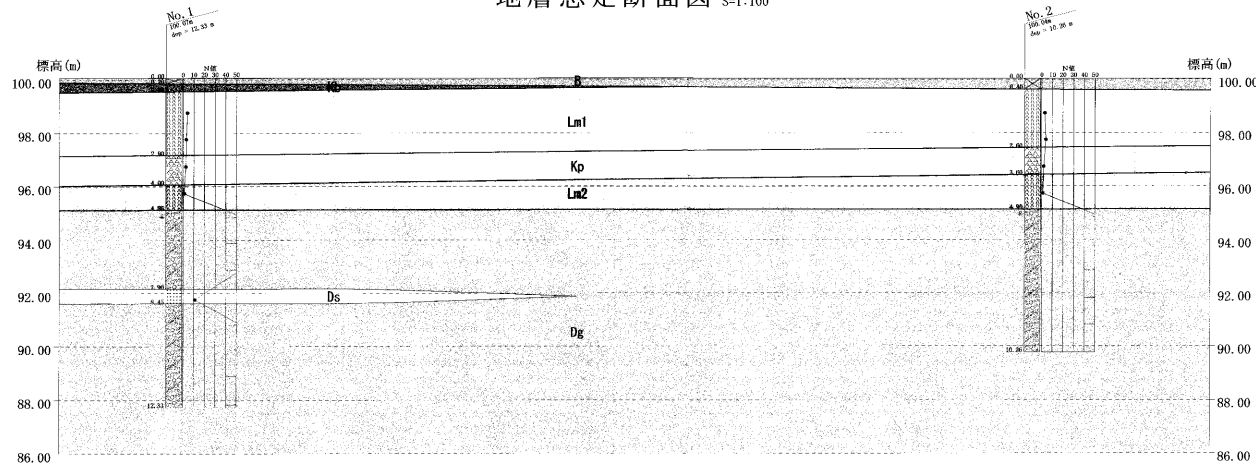
調査位置平面図 S=1:200



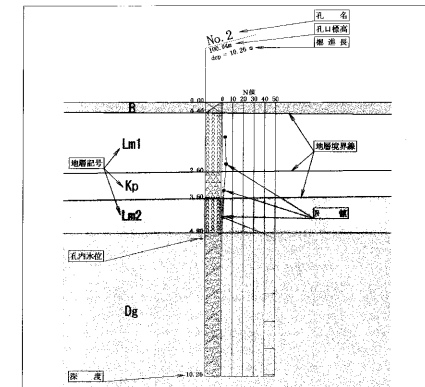
凡例

時代	地層名	記号	主な土質	層厚(m)	N値
完新世	盛土層	B	盛土・埋土 (概、砂主体)	0.20~0.40	-
	黒ボク層		黒ボク	0.30	-
生代	ローム層1	Lm1	ローム	2.20~2.40	3~4
	鹿沼軽石層	Kp	鹿沼軽石	1.00~1.10	2~3
第四紀	ローム層2	Lm2	ローム	0.95~1.30	1
	洗積砂礫層	Dg	粘土混り砂礫	5.36~7.38	50
	洗積砂層	Ds	細砂 [Dg層中の挟み層]	0.55	11

地層想定断面図 S=1:100

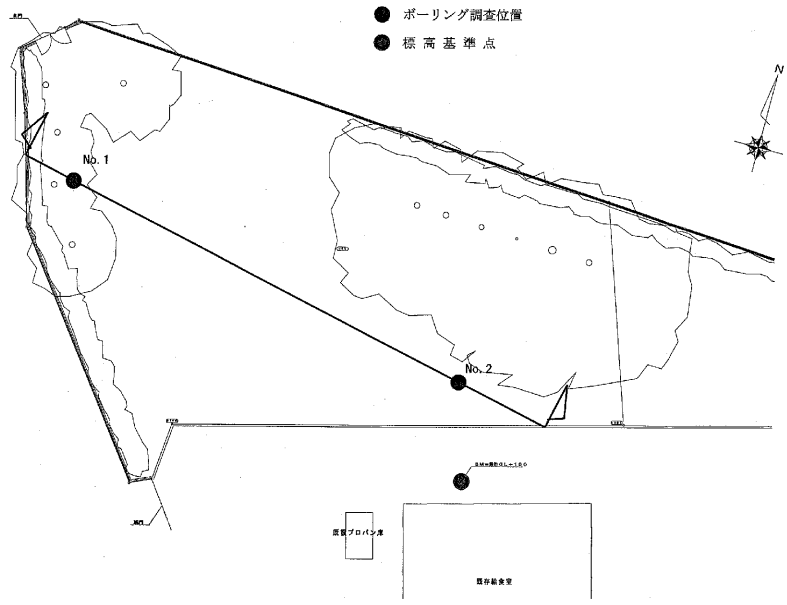


断面図凡例



工事名	扇谷地域コミュニティセンター新築工事に伴う 地質調査業務委託		
図面名	地層想定断面図		
年月日	平成17年10月		
尺度	図示	図面番号	1葉之内1

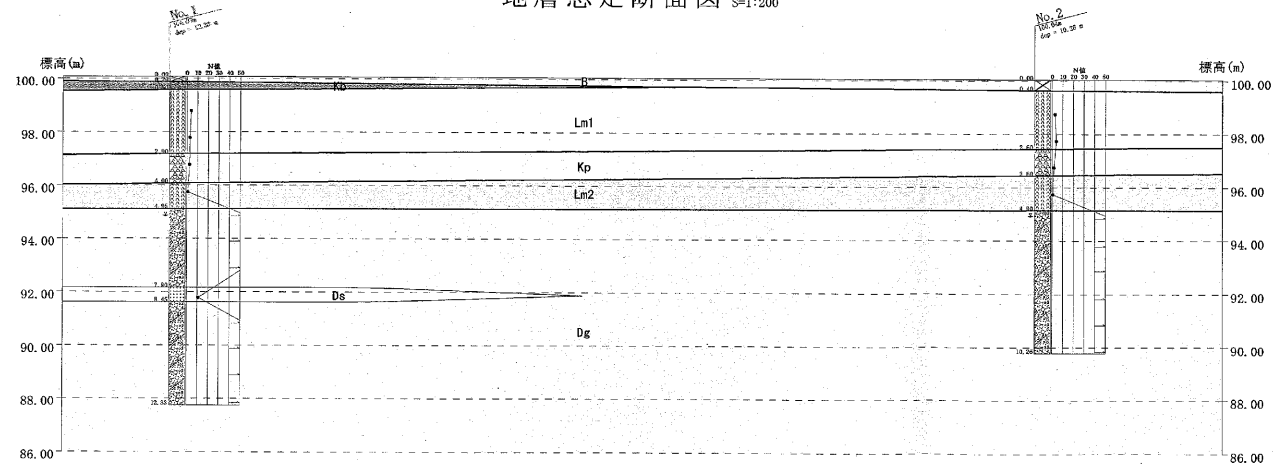
調査位置平面図 S=1:400



凡例

時代	地層名	記号	主な土質	層厚(m)	N値
新 生 代	盛土層	B	盛土・埋土 (礫・砂主体)	0.20~0.40	-
	黒ボク層		黒ボク	0.30	-
更 第 四 紀	ローム層1	Lm1	ローム	2.20~2.40	3~4
	鹿沼軽石層	Kp	鹿沼軽石	1.00~1.10	2~3
新 紀	ローム層2	Lm2	ローム	0.95~1.30	1
	洪積砂礫層	Dg	粘土混り砂礫	5.36~7.38	50
	洪積砂層	Ds	細砂 [Dg層中の挟み層]	0.65	11

地層想定断面図 S=1:200



断面図凡例

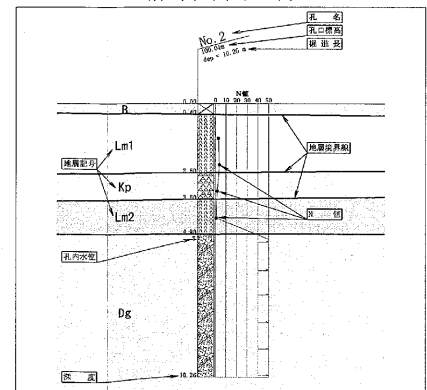


図3.2 地層想定断面図
縮尺 図示

ボーリング柱状図

調 査 名 細谷地域コミュニティセンター新築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1		調査位置	宇都宮市細谷1丁目4番3号			北 緯	
発注機関	宇都宮市役所			調査期間	平成 17年 9月 25日 ~ 17年 9月 26日		東 経	
調査業者名	芙蓉地質株式会社 電話(028-664-3616)		主任技師	現場代理人	コ 鑑 定 者	ボーリング責任者		
孔口標高	100.07m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種
総掘進長	12.33m	度		向				試験機
								KR-100PB
								ハンマー 落下用具
								ポンプ
								V6-B

標 尺 (m)	層 高 (m)	厚 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 相 対 密 度	相 対 密 度	相 対 密 度	記 事	標準貫入試験				原 位 置 試 験	試 料 採 取	室 内 試 験	掘 進 月 日	
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値					深 度 (m)
99.87	0.20	0.21		盛土	暗灰			簡易アスファルト、礫	1.15	2	1/8	4					
99.57	0.30	0.51		黒ボク	黒			粘性は中位の状態である 軽石を少量混じる	1.45	1	1/5	3					
97.17	2.40	2.94		ローム	褐			軟らかい 粘性は中位の状態である 軽石、炭化物を混入する	2.15	1	1/5	3					
96.07	1.10	4.04		鹿沼軽石	黄褐			φ2~4mm程度の軽石を主体とする 炭化物を混入する	2.45	1	1/5	3					
95.12	0.95	4.99		ローム	褐			非常に軟らかい 粘性は中位~やや大きい状態である 軽石、炭化物を混入する	3.15	1	1/5	3					
92.17	2.95	7.94		粘土混じり砂礫	褐			φ2~50mm程度の円、亜円礫を主体とする 隙間は粘土、砂により充填される 6.8mから所々粘土分、細砂分を挟む 7.5~8.0mの間で少量の逸水がみられる	3.90	1	1/5	3					
91.62	0.55	8.49		細砂	褐			ほぼ均質である 上部に礫を点状とする	4.15	1	1/5	3					
87.74	3.88	12.33		粘土混じり砂礫	褐			φ2~50mm程度の円、亜円礫を主体とする 隙間は粘土、砂により充填される 8.45~9.30mの間に粘土分が不均一に混じる	4.50	45	5/1	50					
									5.15	5	1/1	11					
									5.28	50		50					
									6.15	8		8					
									6.23	50		50					
									7.15	6		6					
									7.21	6		6					
									8.15	3	4	4	11				
									8.45	15	28	7	50				
									9.15	2	2	22					
									9.37	50		50					
									10.15	8		8					
									10.23	50		50					
									11.15	8		8					
									11.23	21	29	50					
									12.15	8		18					
									12.33								

<凡例>

柱状図および土質区分

第 1 分類

区分	分類名	図模様
土 質 材 料	礫 (G)	
	粗 質 土 (GP)	
	砂 (S)	
	砂 質 土 (SP)	
	シルト (U)	
	粘 性 土 (C)	
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
	高有機質土(凝結土) (P)	

第 2 分類

区分	分類名	図模様
補 助 記 号	砂 質 (S)	
	シルト質 (U)	
	粘土質 (C)	
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混じり (-B)	
	砂利、礫混じり (-G)	
	砂混じり (-S)	
	シルト混じり (-U)	
	粘土混じり (-C)	
	有機質土混じり (-O)	
	火山灰混じり (-V)	
	貝殻混じり (-Sh)	

第 3 分類

区分	分類名	図模様
岩 石 材 料	硬 岩 (HR)	
	中 硬 岩 (MR)	
	軟 岩、風化岩 (FR)	
	玉 石 (B)	
特 殊 材 料	浮石(軽石) (Fw)	
	シラス (Sl)	
	スコリア (So)	
	火山灰 (VA)	
	ローム (Lo)	
表 層 材 料	黒ボク (Kb)	
	マサ (Ms)	
	表 土 (Sa)	
	埴 土 (Ft)	
腐 葉 物 (F)		

試料採取方法

- Ⓧ シンワールサンプラーによる
- Ⓧ デリソンサンプラーによる
- Ⓧ 貫入試験器による
- Ⓧ フォイルサンプラーによる
- Ⓧ () による

備考

ボーリング柱状図

調査名 細谷地域コミュニティセンター新築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2			調査位置	宇都宮市細谷1丁目4番3号				北緯			
発注機関	宇都宮市役所				調査期間	平成 17年 9月 26日 ~ 年 月 日			東経			
調査業者名	美蓉地質株式会社 電話(028-664-3616)		主任技師			現場代理人	コア		ボーリング責任者	ア		
孔口標高	100.04m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	KR-100PB	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	10.26m	度						エンジン	NFD10-M		ポンプ	V6-B

標尺	層高	層厚	層度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験(月日)	掘進日				
											深さ(m)	10cmごとの打撃回数	0	10	20							打撃回数/貫入量(cm)	N値		
99.64	0.40	0.40			盛土	褐灰	ゆるい	軟らかい	0.15mまで砂、砕石主体 0.15mから粘土混じり砂主体		1.15	1	1	3	30										
97.44	2.20	2.60			ローム	褐	非粘に軟らかい		粘性は中位の状態である 軽石、炭化物を混入する 2.1mから黄褐色の軽石を少量混入する 2.4~2.6mの間に砂分を少量混入する		2.15	1	1	2	4										
96.44	1.00	3.60			重層軽石	黄褐	非粘に軟らかい		非粘に軟らかい φ2~4mm程度の軽石を主体とする炭化物を混入する		3.15	1	1	2	30										
95.14	1.30	4.90			ローム	褐	非粘に軟らかい		粘性は中位~やや大きい状態である 軽石、炭化物を混入する		4.15	1	1	1	30										
89.78	5.36	10.26			粘土混じり砂礫	暗褐	密な		φ2~50mm程度の円、面円礫を主体とする 隙間は粘土、砂分により充填される 6.0m以降褐色の砂分を少量混入する	9/27 3/10	5.15	50	50	50	10										
											6.15	17	26	7	23										
											6.36	50	6	50	6										
											7.15	32	18	5	50										
											8.15	38	12	3	50										
											9.15	42	8	1	50										
											9.28	10.15	42	8	1	50									
											10.26	10.15	42	8	1	50									

<凡例>

柱状図および土質区分

区分	分類名	図模様
土質材料	礫 (G)	
	礫質土 (GP)	
	砂 (S)	
	砂質土 (SP)	
	シルト (M)	
	粘性土 (C)	
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
	高有機質土(凝結土) (Pt)	

区分	分類名	図模様
補助記号	砂質 (S)	
	シルト質 (M)	
	粘土質 (C)	
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混じり (-B)	
	砂利、礫混じり (-G)	
	砂混じり (-S)	
	シルト混じり (-M)	
	粘土混じり (-C)	
	有機質土混じり (-O)	
	火山灰混じり (-V)	

区分	分類名	図模様
岩石材料	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
特殊材料	軟岩、風化岩 (FR)	
	玉石 (B)	
	浮石(軽石) (Fl)	
	シラス (Sl)	
	スコリア (Sc)	
	火山灰 (VA)	
	ローム (La)	
	黒ボク (Lb)	
マサ (MG)		
表土 (Sa)		
埋土 (Fi)		
腐葉物 (F)		

試料採取方法

- Ⓣ シンウォールサンプリャーによる
- ⓓ デリソフサンプリャーによる
- Ⓧ 貫入試験器による
- ⓕ フォイルサンプリャーによる
- Ⓐ () による

備考